

委員会名	平成 30 年度 第 3 回教育に関する事務の点検・評価委員会		
開催日時	2018 年 12 月 27 日（水）15:00～16:00	開催場所	豊島区庁舎教育委員会室
出席者	<b>【教育に関する事務の点検・評価委員】</b> 壺内委員、工藤委員、福元委員 <b>【豊島区】</b> 城山教育部長、佐々木庶務課長、木山学務課長、高桑放課後対策課長、 宮本学校施設課長、加藤指導課長、鮫島教育センター所長 <b>【事務局】</b> 木本、古味、荒木田、池田		
資 料	・ 事業分析シート		
傍聴人	0 人		
議事録作成者	庶務課学校 ICT グループ : 池田	作成日	2019 年 12 月 27 日（木）

発 言 者	発 言 内 容
壺内委員長	<p>ただ今から、第3回教育に関する事務の点検・評価委員会を開会いたします。年末のご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。2回目と同様の方法で点検と評価を行いますのでよろしくお願ひします。</p> <p>では、最初の事業「豊島ふくろう・みみずく資料館の活用」について庶務課長より説明をお願いします。</p>
佐々木庶務課長 壺内委員長	<p>【資料1：豊島ふくろう・みみずく資料館の活用】について説明ありがとうございます。豊島ふくろう・みみずく資料館の活用についてご説明いただきました。</p> <p>まず私から質問をさせていただきますでしょうか。</p> <p>資料館はかなり来館者も多いかと思われませんが、反響はいかがでしょうか。</p>
佐々木庶務課長	<p>資料館につきまして区のホームページをご覧になって遠方からお見えになる方もいらっしゃいます。また、最近のふくろう人気もあって来館者は増えてございます。ご覧いただいた方の感想でございますが、狭いといったご意見を頂戴したことがございます。資料館以外にも庁舎3階の総合窓口の待合スペース横に展示をして待ち時間にご覧いただいております。庁舎が移転して、現在の数まで展示できるようになりました。</p>
工藤委員	<p>第2回で見学をさせていただきましたありがとうございます。</p> <p>12月11日の日本経済新聞に生涯学習で地域の活性化という記事が掲載されておりました。2020年度に導入する社会教育士の活動を通じて住民の生涯学習を後押しし、NPOや企業と連携して地域の活性化を図ることを柱とした、社会教育の振興に関する答申案を中央教育審議会の分科会がまとめました。教育委員会が所管する博物館や図書館を首長部局に移管できるようにする制度改正を提言したという記事の内容になっています。博物館、図書館、公民館といった公立の社会教育施設については街づくりや観光に活かすなど地域にとって効果的と判断される場合には、自治体が条例で移管できる特例の創設を盛り込んだともあります。資料館が学校内の敷地にあるといった制約のため、他に波及しにくいといった環境となるのであれば、教育委員会の所管について一考の余地があるのではないのでしょうか。他にも賑わいを創設ということで、豊島区の魅力を海外発信するために観光情報サイトと連携するといった記事が14日付けの同誌に掲載されておりました。資料館の情報などをダイナミックに外部発信していくためには、教育委員会だけでは限界があると感じます。やはり、区長部局の観光とリンクした方が世界から情報が集まるのではないのでしょうか。庁舎3階のふくろう、みみずくの素敵な展示物、図書館、東アジア文化都市事業とも抱き合わせて積極的に紹介するなど、攻めの姿勢で発信したほうが良いのではないかと思います。</p>
佐々木庶務課長	<p>おっしゃる通りだと思っております。分析シートの課題項目にも記載いたしておりますが、学校内に設置してあるところが大きなネックになっていると考えております。教育委員会が所管している事情でもございます。</p>

	<p>今後、広く皆様を知っていただき、ご覧いただくことで生涯学習にもなると思いますので、既存の区有施設の中で移転場所がない状況ではございますが、大規模改修等の折に移転することが可能か現在も検討をしております。文化観光とタッグを組んで盛り上げていくことも必要と感じておりますので移転先も含めて検討が必要と認識しております。</p>
福元委員	
壺内委員長	<p>南池袋小学校の土曜公開授業の際に親子で来館されると、見学の際に話をうかがいました。広さの問題から一度に見学できる人数も制限されるなど、運営が難しいとの印象があります。ブランドイメージの確立ということでも、やはりスペースの課題があると感じました。現状では地域的にススキミミズクもありますが、ふるさと学習としての活用状況などはいかがでしょうか。</p>
壺内委員長	<p>先日視察いただいたとおり、一度に見学できる児童数は10人程度になるかと思います。班ごとに分けて見学と指導員からの講義を受けている状況でございます。</p>
壺内委員長	<p>ありがとうございました。この事業の効率性と有効性を評価するにあたり、委員の皆様よりご意見を頂戴いたします。</p>
工藤委員	<p>貴重な文化財などは散逸してしまう再収集は不可能だと思いますので、有効性はあると思います。効率性となると、今後、所管を移すことも含めて検討していただかないと発展は望めないと感じています。</p>
福元委員	<p>沢山の資料、展示物を所有している点について評価できると思いますが、やはりスペースの問題もあって活用しきれていないとの印象があります。他校での活用は少々難しいかもしれませんが、教育の観点からは自分たちの住む地域と、ススキミミズクを繋げていくといった活用の仕方が良いかと思いました。</p>
<p>————— 委員よる審議 —————</p>	
壺内委員長	<p>それでは「豊島ふくろう・みみずく資料館の活用」について評価をいたします。効率性についてはB評価、有効性についてはA評価になります。</p> <p>続いて「学校施設環境改善交付金対象事業」についてご説明をお願いします。</p>
宮本学校施設課長	<p>【資料1：学校施設環境改善交付金対象事業】について説明</p>
壺内委員長	<p>ありがとうございました。委員の皆様からご質問を頂戴します。</p>
福元委員	<p>先日の富士見台小学校の視察で特に印象に残っていることとなりますが、女性用トイレにオムツ替えのシートやベビーキーパーなどが設置されていて、小さなお子さんがいる保護者にとって利便性が高いと思いました。防災拠点、地域の方の活用という観点からも十分な改修がされていると感じました。洋式トイレでないと利用し難い子供たちがいるということは聞いております。そういった中で高さなどにも工夫が見られ、男子個室も増やしていること、デザイン性も高く入り易い、入りたいと思わせるトイレになっていると思いました。</p> <p>子供、保護者、地域の方々の利用した感想などはございますでしょうか。</p>

宮本学校施設課長	<p>平成28年度にトイレ改修事業を開始した時にアンケートをしてございます。入り易くなったといった声を子供たちから直接いただいております。以前は入り辛く、子供たちが我慢をしてしまう環境でありましたけども、子供たちが利用しやすいトイレになったと感じております。また、地域の方々も来校され新しいトイレを使用した際には、大変好評をいただいていると、校長先生からお話をいただいております。トイレの改修の効果につきましては、非常に好評をいただいているところでございます。今年度をもちまして事業としては終わりになりますが、洋式化は100%に達しておりませんので、今後引き続き改修を進めるよう考えております。</p>
工藤委員	<p>計画的に改善を進めているとご説明をいただきました。最上の改修、改築をしたとしても、学校側からすると細かいことが沢山でてくるものです。その都度、施設の担当部署には対応をしていただいているかと思えます。</p> <p>評価委員会において新築校、防災面などで視察させていただいておりますが、教育委員会の方々が良い学校を造ろうと努力をされていると感じます。教育委員会の中では一番多くの予算を扱う事業かと思えます。事業分析シートの予算額と決算額ですが差が大きいと思われます。そのあたりのご説明をいただけますでしょうか。</p>
宮本学校施設課長	<p>こちらの乖離の理由は、主に巣鴨北中学校の改築に関する経費となります。改築に伴う予算につきましては、工事の進捗に対しての出来高払いとなっておりますので、最終年度に経費がかかる仕組みとなっております。当然ですが、最大限、補助金を貰えるように考えつつ、進捗と合わせて執行をしていることが乖離が大きくなっている理由でございませう。</p>
工藤委員	<p>2020年が近づいております。人件費、材料費共に高騰していると聞いておりますが、人的、資材的な弊害は発生しておりますか。</p>
宮本学校施設課長	<p>現在のところでは、こちらで考えている予算の執行について、影響が出ていることはありません。ただ、人手不足については業界の中ではあるようであり、今夏の猛暑では、休み休み進めるための人員を確保して工事を行っていますが、カバーするための人員がなかなか集まらないなど、若干の遅れが発生するなどの影響がでております。</p>
壺内委員長	<p>課題として、国の予算配分により採択されないことがあるとのことですが、詳しくお聞かせください。</p>
宮本学校施設課長	<p>国の補助金に関しては対象となる改築、改修すべてに手を挙げておりますが、全ての要望額を満たすほどの国の予算がありません。具体的な事業ごとに対して補助金がないということではなく、要望した金額に対して一定割合しか貰えないといったことがございます。</p>
壺内委員長	<p>ありがとうございます。ではこの事業について効率性、有効性について委員の皆様、ご意見などございますでしょうか。</p>
工藤委員	<p>有効性については、学校としてはこの事業なくしては話が成り立たないくらいなので、有効性は非常に高いと思えます。効率性については説明をいただいて良く分かりましたが、予算、決算の乖離が大きすぎると感じますので、今後きちんと説明をしていただく体制でお願いします。</p>

福元委員	<p>巢鴨北中学校の新築校において、ランチルームや家庭科室なども配置を考慮しているなど、防災拠点としての機能強化を図っているとのことですが、地域活用について地域の方からの意見などありましたらお聞かせください。</p>
宮本学校施設課長	<p>地域の方の活用につきましては、他の学校と同様に学校開放という形で行っております。巢鴨北中学校の中には町会に利用いただける集会スペースを用意しております。庚申塚通りに面したところには町会のお祭りなどで使用できるスペースも設計の段階から打ち合わせをさせていただき、できうる限り地域の方々にも使い易い形を目指して準備を進めております。</p>
壺内委員長	<p>ありがとうございました。それでは審議をいたします。</p> <p style="text-align: center;">————— 委員よる審議 —————</p>
壺内委員長	<p>学校施設環境改善交付金対象事業について評価をいたします。委員からの意見を総合し、効率性についてはA、有効性についてもAという評価になります。</p> <p>続きまして、「秋田県能代市との教育連携」について指導課長よりご説明をお願いいたします。</p>
加藤指導課長	<p>【資料1：秋田県能代市との教育連携】について説明</p>
壺内委員長	<p>ありがとうございました。</p>
工藤委員	<p>全国の学力調査を実施した際に、秋田県能代市が大変良い結果が出たということでしょうか。そこに豊島区は教育の連携をしようということになった。それによって豊島区の子供たちの学力はどの程度の比率で達成できているのか、教えていただけますか。</p>
加藤指導課長	<p>指標としましては全国学力調査の表記でございますが、能代市との連携開始の前後では、全国10位程度であった順位が小学校はトップに値する数値となっております。中学校においてもすべての教科が5位程度まで収まっております。児童、生徒の頑張りもございしますが、子供たちに何をどのように身に着けさせたいかといったことを教員が能代市との連携の中で学んだ結果だと考えます。</p>
工藤委員	<p>当初は学力であったと思いますが、子供たちの交流、民泊の農業体験など、地域の生活や文化を体感するといったことに、段々と目的の質的な内容が変質してきているような気がしますがいかがでしょうか。</p>
加藤指導課長	<p>生徒の交流につきましては豊島ふるさと学習プログラムを提示しております。地元地域を大切にする、住んでいる地域の特色を活かす学習を進めていく交流が盛んに行われております。能代市に関しても過疎化が進んでおり、今年度の交流においても地元地域の盛り上げについて取り上げられました。自分の住む地域を愛し大切にする、2020東京オリンピック・パラリンピックにおいても発信していけるような取り組みを今後も進めてまいりたいということが能代市、豊島区の共通の部分となります。</p>
福元委員	<p>能代市との教育連携の中で学力向上に一番大きく寄与したと思われることは何でしょうか。また、中学生の交流事業について、どのような感想が</p>

<p>加藤指導課長</p>	<p>あったのかお聞かせください。</p> <p>能代市に行った生徒については、それぞれの学校で体験報告会を実施しております。報告の中では、東京に住んでいると何でもすぐに揃うが、能代市ではコンビニエンスストア一つとっても、そうはいかない環境の違いや、農業の厳しさ、働くということの正しい勤労観等も学べたといった感想がございます。豊島区では祖父母と同居といった家庭は珍しいので、能代市が「第二のふるさと」といった表現で、また行ってみたい。といった感想もございました。</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>豊島区は能代市と教育連携を進めることで、学力が向上しているという結果がでてきているとのことですが、各学校での具体的な取り組み、授業改善など、連携以前と変わってきた事例をお聞かせください。</p>
<p>加藤指導課長</p>	<p>授業改善リーダーとして平成25年度から6年間派遣をしております。一点目として、子供たちに何を教えなければならないのか、一時間あたりの目あてが曖昧な授業が多かった中で、一時間の授業の流れを各学校で作りに出してきて目あてと振り返りがしっかりとした授業になり、自己流の授業が少なくなりました。二点目としてはノート指導が挙げられます。ノートはただのメモではなく、一時間の学習の記録であるということを能代市から学んできているところがございます。ノート指導を各学校で重点事項として、振り返りのできるノート作りに取り組んでおります。三点目としましては、教え込むのではなく、子供たちが学習するファシリテーターとしての役割を教員が果たすことです。子供たちが主体的、対話的で深い学びをするということを教員達が実践してきていることが年々成果が上がってきていることではないかと感じております。</p>
<p>工藤委員</p>	<p>事業の名称、文言のことですが、田舎体験とあります。これは交流の際にも田舎という言葉は使われておりますか。</p>
<p>加藤指導課長</p>	<p>募集の際に田舎という表現はしておりますが、ご指摘いただきましたように適切な表記に改めさせていただきます。</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>この事業はいつ頃まで継続していくのか見通しはございますか。</p>
<p>加藤指導課長</p>	<p>毎年11月の能代市へ訪問した際に双方の教育委員の皆様で次年度についての相談をしております。毎年、協定を結び実施をしております。共に必要性を感じているからこそ継続しているものと考えます。費用対効果や時代の流れなど、十分に目的を果たしたとなれば一旦休止となるのではないかと考えております。現時点では明確にいつ迄といったところは決まっております。</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>ありがとうございます。子供たちにとってはとても良い事業は、予算の関係もあるでしょうが継続していただきたいと思っております。</p> <p>それでは審議をいたします。</p> <p style="text-align: center;">————— 委員による審議 —————</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>それでは秋田県能代市との教育連携について評価いたします。効率性についてはA、有効性についてもAという評価いたします。</p>

これで本日の3つの事業について評価が終了しましたので、審議を終了いたします。委員の皆様ありがとうございました。

以上を持ちまして、第3回教育に関する事務の点検・評価委員会を閉会いたします。皆様ありがとうございました。

—— 閉 会 ——